



溶岩流

火山災害には、溶岩流、空中の火山灰粉塵、噴石、火山ガラス、腐食性火山ガス、地盤移動、地割れが含まれます。

事前の備え

- ・ 避難できる準備を整えましょう。
- ・ お住まいの地区の警報システムを確認しましょう。
- ・ 地震、鉄砲水、地すべり、土石流、津波といった関連災害にも備えましょう。
- ・ 避難計画と防災セットを準備しましょう。
- ・ 緊急時の連絡手段計画を作成して下さい。
- ・ 同居していない家族や友人に「家族の連絡先」になってもらいましょう。
- ・ 家族全員分のゴーグルと使い捨てマスクを用意しましょう。

✓ アクションプラン

- ✓ 避難する準備をしてください。
- ✓ すべての窓とドアを閉めましょう。
- ✓ 可能であれば、動物や家畜を小屋にかくまって下さい。
- ✓ 有毒ガスが溜まりやすいので低平地は避けてください。
- ✓ 水路近くで災害に遭遇した場合には、土石流に警戒して下さい。
- ✓ 目を保護するためにゴーグルを使用しましょう。
- ✓ 呼吸を助けるために、フェイスマスクか防塵マスクを使うか、湿らせた布を顔にあてましょう。
- ✓ 溶岩流域には近づかないで下さい。



地すべり

「地すべり」は重力が地面を下方に押し下げる際に発生し、よくある原因が大雨です

事前の備え

- ・ 地すべりが起こりやすい地域には近づかないで下さい。
- ・ 周囲の地形への理解を深めましょう。
- ・ 自宅周囲の斜面に何らかの亀裂や地面の動きがあるか観察して下さい。
- ・ 斜面を安定させるために被覆植物を植えましょう。
- ・ 自宅周囲の斜面上にある雨水排水の様子に目を配って下さい。

✓ アクションプラン

- ✓ お住まいの地域の地質、水理に関する過去の経緯を調べましょう。
- ✓ 避難の準備をしましょう。
- ✓ 斜面側の壁には近づかないで下さい。
- ✓ 切れて地上に垂れ下がった電線に近づかないようにして下さい。
- ✓ 被害を拡大させないためにガス・電気・水道は止めて下さい。



山火事

ハワイ諸島全域で山火事が発生しやすく、特に長引く干ばつや強風の際に顕著です。

事前の備え

- ・ 燃えやすいものは適切に廃棄しましょう。
- ・ 家の周りのゴミを除去しましょう。
- ・ 屋根や雨樋を定期的に清掃して下さい。
- ・ 建物を建てる際には、耐火性の材料を使用して下さい。
- ・ 防火植栽をしましょう。
- ・ 消火器を購入し、すぐに使用できるようにしましょう。
- ・ すべての部屋に煙探知器を設置し、月に1回点検して下さい。

✓ アクションプラン

- ✓ 山火事を見たらすぐ911に電話して下さい。
- ✓ 低木地域に山火事がくすぶっているのを見た場合、安全に消すことができれば消火器で消火して下さい。
- ✓ 耐火植物を植えて下さい。こうすることで、家屋への飛び火を防ぐ一助となります。
- ✓ 避難する準備をして下さい。
- ✓ 当局からの指示に従って下さい。

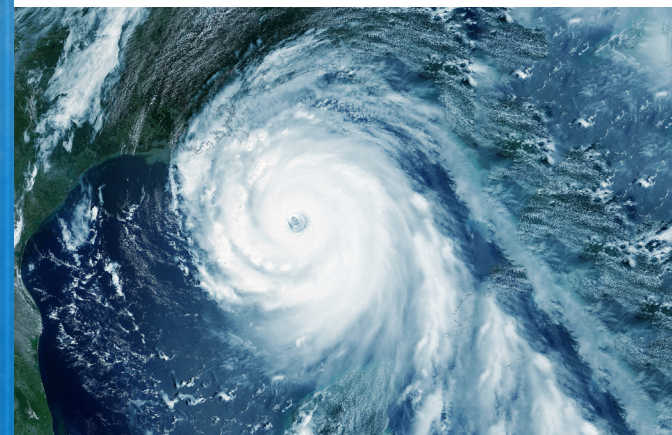
自然災害への備え



Hawai'i Emergency Management Agency
ready.hawaii.gov



Funding is provided by the Federal Emergency Management Agency,
National Earthquake Hazards Reduction Program,
Individual State Earthquake Assistance Grant, EMF-2021-CA-00015.
Japanese Translation 2022



ハリケーン

強風、大雨、洪水、破壊的な高波、海岸の浸水。

用語を把握しましょう

「注意報」が発令された場合、ハリケーンは36時間以内に予測されます。警戒してください。「警報」が発令された場合、ハリケーンは24時間以内に予測されます。

事前の備え

- ・ 「注意報」が発令されている間は、ラジオやテレビで指示を聞くようにしましょう。
- ・ 防災用品を揃えましょう。
- ・ 各自避難計画を作成しましょう。
- ・ 大切な電話番号、地図、その他の重要な書類を手元に置いておきましょう。
- ・ 余分な食料、電池、飲料水を蓄えて下さい。
- ・ 洪水保険に加入しましょう。
- ・ ハリケーン暴風対策用屋根留め具やシャッター、窓にはマリングレードのカット合板を取り付けましょう。

✓ アクションプラン

- ✓ 自宅から避難するよう勧告が出た時のために、嵐を避けて避難できる場所を確認しておきましょう。
- ✓ 警報が発令されている間は、窓に板を張っておきましょう。
- ✓ 吹き飛ばされるおそれがあり、固定されていないものはしっかりと留めて下さい。
- ✓ 冠水するおそれのある地区から離れて下さい。
- ✓ 強風時には、屋内にとどまり窓から離れて下さい。窓は閉めておきましょう。
- ✓ 外壁や戸口には近づかないで下さい。



津波

すべての海岸線に影響をもたらす、限定的または何らの警告もなく発生する恐れがある一連の破壊的な海洋波。

用語を把握しましょう

勧告：水域を避けて下さい。

注意報：津波の可能性がります；安全な場所に移動する準備をして下さい。

警報：沿岸部からは直ちに避難してください。

事前の備え

- ・ 自宅、学校、職場が津波の浸水域にあるかどうかを確認しましょう。*
- ・ 洪水保険に加入しましょう。
- ・ 避難計画と14日分の防災用品セットを用意しましょう。
- ・ 待ち合わせ場所は内陸部の高台を選びましょう。

*低地の沿岸地域、海浜、港湾、海に注ぐ水路は、津波の影響に対して最も脆弱です。

☑️ アクションプラン

- ✓ 浸水域にいて、当局からの警報を聞いた、もしくは津波の自然兆候(強い地面の揺れや異常な海洋活動など)を察知した場合には、すぐに避難して下さい。
- ✓ 高台に移動するか、10階建て以上の鉄筋コンクリートまたは構造鋼建築物の上方4階以上に避難します。
- ✓ 1回の波で危険が去ったと思わないで下さい。次の波は最初の波よりも大きいかもしれません。
- ✓ 浸水域からは離れて下さい。
- ✓ 当局が安全であると勧告してから、自宅に戻りましょう。



地震

何の前触れもなく発生する激しい地面の揺れ。

事前の備え

- ・ 懐中電灯、履き物、ラジオを手近に備えましょう。
- ・ 背の高い本棚や書類整理棚をしっかりと固定して下さい。
- ・ プロパンガスのタンクや給湯器の安全を確認しましょう。
- ・ 電化製品やコンピュータ周囲の安全を確認し、壁の間柱に固定して下さい。
- ・ 認可された請負業者を雇い、家の土台に押さえ材を取り付けてもらって下さい。
- ・ 認可された請負業者を雇い、破裂を防ぐため、ガスと水道管に可撓性のある配管を取り付けてもらいましょう。
- ・ 頭上の照明器具をしっかりと固定して下さい。

☑️ アクションプラン

- ✓ 「身をかがめ、守り、待って」丈夫なテーブルの下に身をかがめて下さい。片腕で頭と首を覆いましょう。揺れが収まるまで待って下さい。
- ✓ 建物や街灯、電線から離れて下さい。
- ✓ 慌てて出口に行かないで下さい。「身をかがめ、守り、待って」下さい。
- ✓ 高層ビルで遭遇した場合：同じフロアにとどまって下さい。エレベーターは使用しないで下さい。
- ✓ 運転しないで下さい。路肩に停車し車中にいて下さい。橋や陸橋、地上電線の下に車を止めないで下さい。



侵食

海岸侵食は、通常、冬や高潮が原因となり、海岸が内陸側に移動することによって起こります。

事前の備え

- ・ 海岸侵食に精通し、適切な行動を推奨できる専門家や州および/または郡の機関に相談して下さい。
- ・ 住まいやその他建造物を海岸線から遠ざける可能性も検討しましょう。

☑️ アクションプラン

- ✓ 海岸線から十分な距離があり、個々の敷地に規定された建築後退線、及び適切な造園慣行と敷地開発基準について理解を深めましょう。
- ✓ 建築基準法や土地利用規則を守りましょう。指標については、FEMA沿岸建設マニュアルを参照して下さい。
- ✓ 適切な機関に問い合わせ、アドバイスを受けて下さい。



干ばつ

干ばつは異常な日照りが続くことです。干ばつは自然の水の流れを減少し、土壌の水分を枯渇させ、社会、環境、経済面で影響をもたらす可能性があります。

干ばつはまた、山火事の原因と密接に関連しています。

事前の備え

- ・ 十分な飲料水の供給を保って下さい。
- ・ 水の使用量を減らすよう努めて下さい。
- ・ 庭の水撒きは、涼しい早朝や夕方に。
- ・ 水撒きは一日おきにしましょう。
- ・ 山火事の発生や延焼を防ぐために、敷地内の乾燥したゴミを除去して下さい。

☑️ アクションプラン

- ✓ 使用後は確実に水を止めましょう。1分間に最大3ガロンの水を節約できます。
- ✓ 節水型のシャワーヘッドや流量制限器を設置しましょう。1回のシャワーで最大75%の節約が可能です。
- ✓ 洗濯機や食洗機を使用する際は、まとめ洗いをしましょう。最大で33ガロンの節約になります。
- ✓ 配管の漏れを見つけましょう。パイプの漏れがあると、月額水道代が30ドルほど高くなります。



洪水

川や谷などの洪水多発地帯での急激な氾濫。

用語を把握しましょう

「注意報」が発令された場合は、洪水が発生する可能性があります。警戒して下さい。「警報」が発令された場合は、洪水が差し迫っているか、すでに発生しています。

事前の備え

- ・ 洪水の可能性のある地域に住んでいるかどうかを確認しましょう。
- ・ 洪水保険に加入して下さい。
- ・ 物的損害や人身傷害を防ぐために、貯水槽をしっかりと固定して下さい。
- ・ 排水路には近づかないで下さい。
- ・ ダムや貯水池下方の安全が危惧される場所には注意が必要です。
- ・ 避難勧告を注意して聞いて下さい。

☑️ アクションプラン

- ✓ 冠水している場所は避けましょう。泳いだり、歩いたり、車で通り抜けようとししないで下さい。
- ✓ 切れて地上に垂れ下がった電線を避けて下さい。
- ✓ 水道水を飲まないで下さい(汚染されている可能性があります)。
- ✓ 上階に貴重品を移動しましょう。
- ✓ 周囲の水が急激に上昇して閉じ込められた場合は、車から出て高台に登って下さい。